

中小企業動向調査

この調査は富山県内企業431社を対象に実施し、395社より回答があり、その結果をまとめたものである。□

企業の調査資料として、平成19年10月～12月の実績、平成20年1月～3月の見込み、平成20年4月～6月の先行き見通しを集約した概要である。なお、季節調整は行っていない。

調査時期：平成19年12月下旬

	調査対象企業数	有効回答企業数	有効回答率
製 造 業	202□	187□	92.6%
非 製 造 業	229□	208□	90.8%
計	431	395	91.6%

日銀が2月18日に公表した、金融経済月報（2008年2月）によると、現状の景気判断は、「わが国の景気は、住宅投資の落込みなどから減速しているとみられるが、基調としては、穏やかに拡大している。」としている。

先行きについては、「当面減速するものの、その後穏やかな拡大を続けると見られる。」としている。

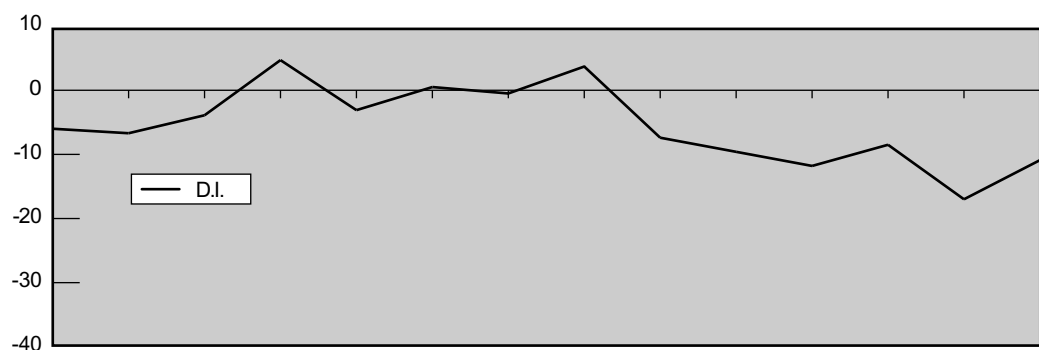
「輸出は海外経済が減速しつつも拡大するもとの、増加を続けていくとみられる。また、設備投資や個人消費も、総じて高水準の企業収益や雇用所得の穏やかな増加を背景に、増加基調をたどる可能性が高い。住宅投資は、当面低調に推移するものの、次第に回復に向かうと予想される。」との先行き見解となっている。□

I. 企業概況

企業概況の推移……（全産業）

(%) 見込 予測

期別 種別	17 年				18 年				19 年				20年	
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月
良 い	19.7□	17.7	17.7	22.2	19.1	19.7□	18.3	20.9	17.6□	13.4	13.6	14.6	10.3	11.4
普 通	54.6□	57.9	60.7	60.3	58.7	61.3	62.9	61.8	57.4□	63.5	61.1	62.3	62.4	66.3
悪 い	25.7□	24.4	21.6	17.5	22.2	19.1	18.8	17.2	25.0□	23.0	25.3	23.1	27.3	22.3
D . I .	-6.0	-6.7	-3.9	4.7	-3.1	0.5	-0.5	3.7	-7.4	-9.6	-11.8	-8.5	-17.0	-10.9

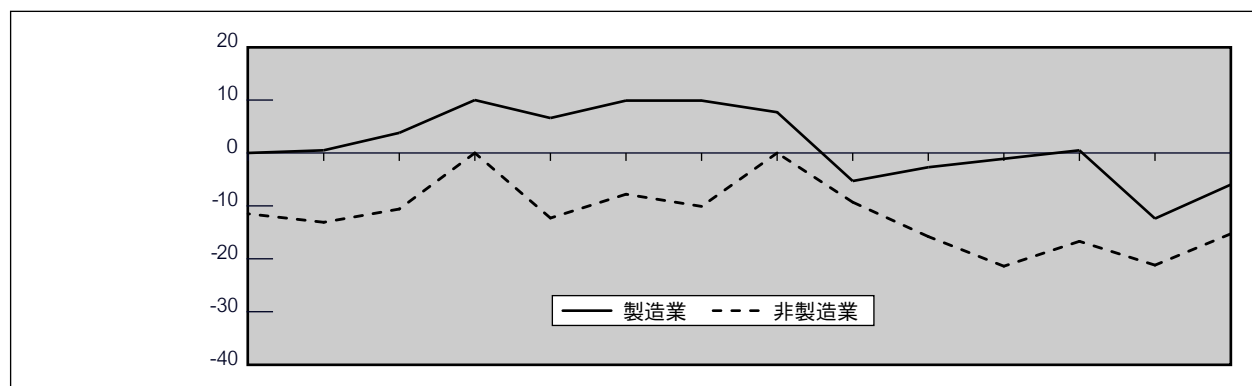


企業概況の推移……（うち製造業のみ）

		(%)												見込	予測
種別	期別	17 年				18 年				19 年				20年	
		1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月
良	い	22.6	22.3	21.5	25.3	23.9	25.7	24.5	22.4	18.1	16.7	20.0	19.9	11.9	12.0
普	通	54.9	56.0	60.8	59.5	58.9	58.6	60.9	62.8	58.5	64.0	58.9	60.8	63.8	70.1
悪	い	22.6	21.8	17.7	15.3	17.3	15.7	14.6	14.8	23.4	19.4	21.1	19.4	24.3	17.9
D . I .		0.0	0.5	3.8	10.0	6.6	9.9	9.9	7.7	-5.3	-2.7	-1.1	0.5	-12.4	-6.0

企業概況の推移……（うち非製造業のみ）

		(%)												見込	予測
種別	期別	17 年				18 年				19 年				20年	
		1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月
良	い	17.1	13.6	14.4	19.4	14.6	14.3	12.6	19.5	17.1	10.5	7.8	9.8	8.9	10.9
普	通	54.4	59.6	60.6	61.1	58.5	63.6	64.7	61.0	56.5	63.2	63.1	63.7	61.1	62.9
悪	い	28.6	26.8	25.0	19.4	26.9	22.1	22.7	19.5	26.4	26.3	29.1	26.5	30.0	26.2
D . I .		-11.5	-13.1	-10.6	0.0	-12.3	-7.8	-10.1	0.0	-9.3	-15.8	-21.4	-16.7	-21.2	-15.3



- (1) こうした全国の状況の中で富山県内の中小企業の業況を全産業で見ると、業況判断指数D.I.「良い－悪い」の、19年10～12月期実績は▲8.5と前期比3.3ポイント改善した。

先行きについて、20年1～3月期のD.I.は、前期比8.5ポイント悪化する見込となっている。しかし、4月～6月の予想では、D.I.はマイナスであるが、改善予測となっている。

- (2) 業況判断指数D.I.の19年10～12月期を製造業と非製造業に分けてみると、製造業は前期より1.6ポイント改善となった。非製造業も前期より4.7ポイント改善している。先行きについてのD.I.は全業種で、悪化見込みであり、製造業については、今期プラスポイントとなったが、再びマイナスポイントの見込みとなっている。製造業の業況判断指数D.I.は、先行きの20年1～3月期見込を▲12.4と12.9ポイント悪化見込となっているが、20年4～6月期を▲6.0と改善予想をしている。非製造業の業況判断指数D.I.についても、20年1～3月期予想は▲21.2とマイナスと悪化見込であるが、20年4～6月期は改善見込になっている。

Ⅱ．売上高状況

売上高状況

(%) 見込 予測

期別 種別	17 年				18 年				19 年				20年	
	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月
増 加	35.8	35.9	36.4	35.4	35.0	35.0	33.8	36.0	31.6	28.5	26.0	31.5	23.6	21.8
横 ば い	38.9	40.0	40.6	40.5	40.9	44.3	44.4	42.1	40.7	41.7	42.2	40.4	48.6	58.1
減 少	25.3	24.1	23.1	24.1	24.1	20.8	21.8	21.9	27.7	29.8	31.8	28.2	27.8	20.1
D . I .	10.5	11.8	13.3	11.2	10.9	14.2	11.9	14.1	3.9	-1.2	-5.9	3.3	-4.3	1.8

売上高状況（うち製造業のみ）

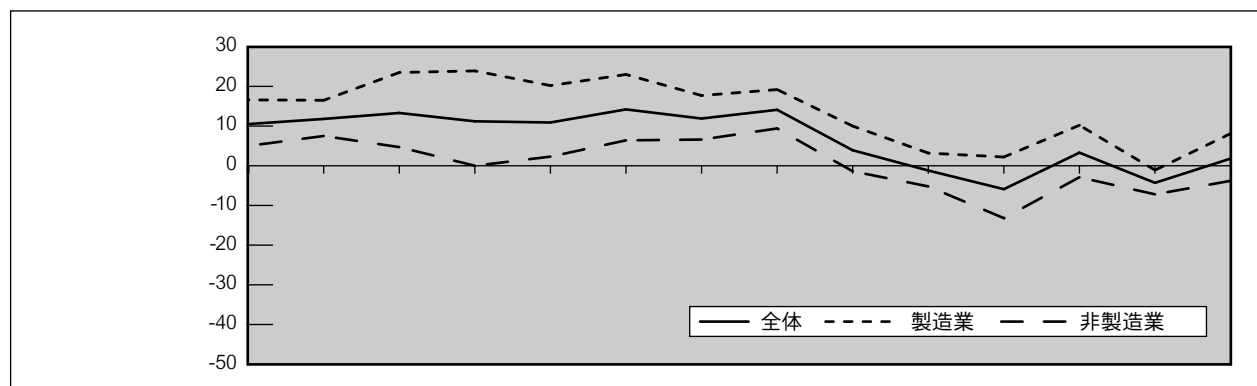
(%) 見込 予測

期別 種別	17 年				18 年				19 年				20年	
	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月
増 加	40.9	41.2	43.8	43.1	41.4	39.2	38.0	39.9	34.7	31.6	31.0	36.5	25.1	25.8
横 ば い	34.7	34.0	35.8	37.8	37.4	44.5	41.7	39.4	40.5	40.0	40.2	37.1	48.7	56.5
減 少	24.4	24.7	20.3	19.1	21.2	16.2	20.3	20.7	24.8	28.5	28.8	26.3	26.2	17.7
D . I .	16.6	16.5	23.5	23.9	20.2	23.0	17.7	19.2	10.0	3.2	2.2	10.2	-1.1	8.1

売上高状況（うち非製造業のみ）

(%) 見込 予測

期別 種別	17 年				18 年				19 年				20年	
	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月
増 加	31.2	31.0	30.2	28.5	29.1	31.2	29.8	32.4	28.9	25.8	21.4	26.9	22.1	18.3
横 ば い	42.7	45.5	44.2	43.0	44.1	44.0	46.9	44.6	40.8	43.2	43.9	43.3	48.6	59.6
減 少	26.1	23.5	25.6	28.5	26.8	24.8	23.2	23.0	30.3	31.0	34.6	29.8	29.3	22.1
D . I .	5.0	7.5	4.7	0.0	2.3	6.4	6.6	9.4	-1.4	-5.2	-13.2	-2.9	-7.2	-3.8



- (1) 売上高は、前年同期比較での増減について回答を受けている項目である。全産業の売上高状況D.I.は、19年4～6月期からマイナスとなっていたが、今回調査では、9.2ポイント改善し3.3とプラスとなった。先行きについて、1～3月期は悪化予想となっているが、4～6月期には改善予想となっている。
- (2) 売上高状況D.I.を製造業と非製造業で分けると、製造業はプラスで推移しているが、19年からは低下傾向となっている。しかし、今期10.2と8ポイント改善となった。非製造業19年1～3月期からD.I.はマイナスとなり悪化していたが、今期調査では、10.3ポイント改善している。先行きについては、まだ、マイナスが続く予想となっている。

Ⅲ. 生産高・稼働率状況

生産高状況（製造業のみ）

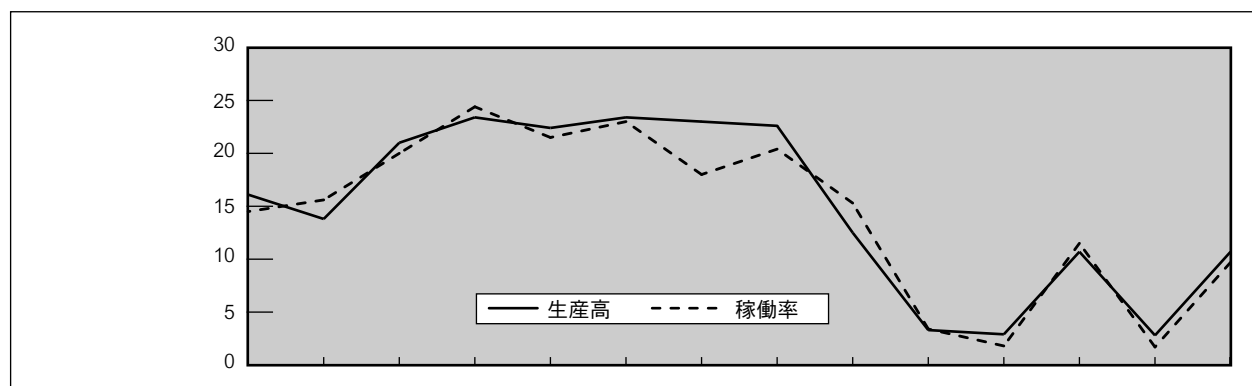
(%) 見込 予測

期別 種別	17 年				18 年				19 年				20年	
	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月
20%以上増加	9.7	8.5	9.9	12.5	11.7	7.6	10.7	8.4	6.5	4.4	8.1	7.9	4.5	2.8
20%未満増加	30.1	29.6	30.4	28.3	28.1	32.1	28.3	31.6	27.2	26.4	21.4	27.5	24.0	23.6
横ばい状況	36.6	37.6	40.3	41.8	42.9	44.0	44.9	42.6	45.1	41.8	43.9	39.9	45.8	57.9
20%未満減少	20.4	21.7	18.8	15.2	16.8	13.6	14.4	17.4	19.0	24.2	23.1	21.3	21.2	11.8
20%以上減少	3.2	2.6	0.6	2.2	0.5	2.7	1.6	0.0	2.2	3.3	3.5	3.4	4.5	3.9
D . I .	16.1	13.8	21.0	23.4	22.4	23.4	23.0	22.6	12.5	3.3	2.9	10.7	2.8	10.7

稼働率（製造業のみ）

(%) 見込 予測

期別 種別	17 年				18 年				19 年				20年	
	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月
上 昇	10.6	9.4	11.7	13.3	12.0	8.2	9.3	5.9	5.1	5.6	5.9	6.9	5.1	2.9
やや上 昇	26.8	27.1	23.9	25.6	27.2	28.4	25.1	31.2	28.2	20.8	18.9	25.3	21.1	21.1
横 ば い	39.7	42.7	48.9	46.7	42.9	49.7	49.2	46.2	48.6	50.6	52.1	47.1	49.1	61.7
やや下 降	20.1	17.7	13.3	13.9	15.2	11.5	15.8	16.7	16.9	20.8	18.3	17.8	20.6	11.4
下 降	2.8	3.1	2.2	0.6	2.6	2.2	0.5	0.0	1.1	2.2	4.7	2.9	4.0	2.9
D . I .	14.5	15.6	20.0	24.4	21.5	23.0	18.0	20.4	15.3	3.4	1.8	11.5	1.7	9.7



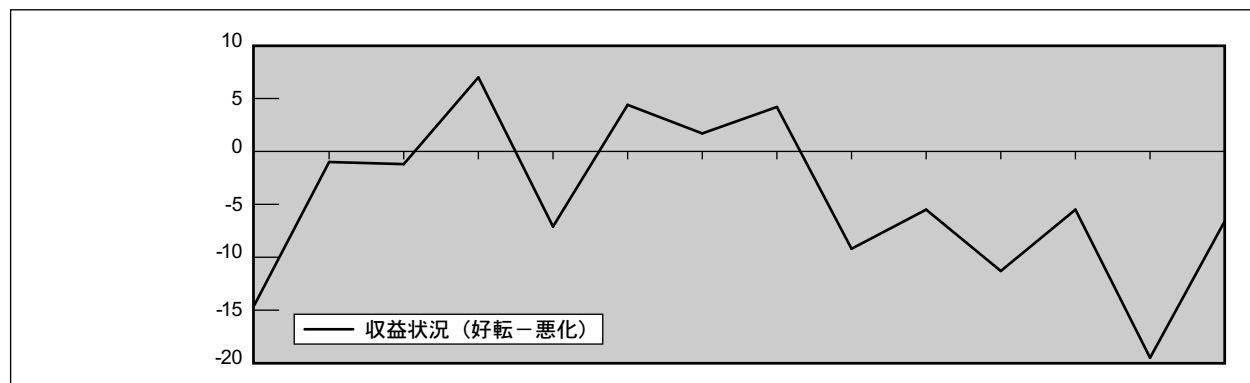
- (1) 生産高・稼働率ともに売上高と同様、前年同期比での増減について回答を受けている項目である。製造業の生産高状況D.I.「増加－減少」は、上記調査期間全てプラスであるが、19年1～3月期からのD.I.は20を割り込み悪化してきている。今期改善した結果となっているが先行き1～3月期は悪化を予想している。
- (2) 一方の稼働率状況D.I.からも、18年全期間で稼働率が上昇状況であったが、生産高同様に19年4～9月期は上昇幅はやや落ち着き、横ばいとする企業が増加している。今期は9.7ポイント改善している。下降との回答が減少した結果となっている。稼働率も生産高D.I.と同様の動きをしている。

IV. 収益状況

収益状況（好転－悪化）

(%) 見込 予測

期別 種別	17 年				18 年				19 年				20年	
	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月
好 転	17.7	19.7	21.0	23.5	18.6	23.8	18.4	23.2	19.2	16.6	12.4	18.5	9.9	14.6
横 ば い	50.1	59.6	56.8	60.0	55.6	56.9	64.9	57.7	52.5	61.3	63.9	57.5	60.7	64.2
悪 化	32.2	20.7	22.2	16.5	25.7	19.1	16.7	19.1	28.4	22.1	23.7	24.1	29.4	21.2
D . I .	-14.5	-1.0	-1.2	7.0	-7.1	4.4	1.7	4.2	-9.2	-5.5	-11.3	-5.6	-19.5	-6.6



好転理由

(%) 見込 予測

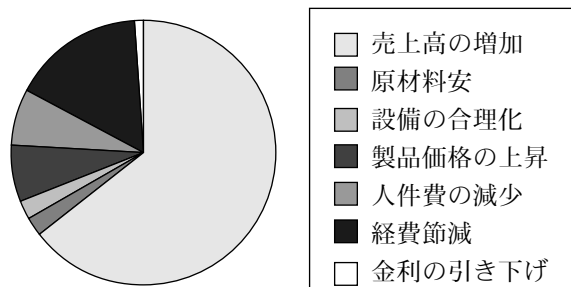
期別 種別	17 年				18 年				19 年				20年	
	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月
売上高の増加	74.4	69.7	65.5	69.1	56.3	64.6	61.9	61.5	69.4	61.4	66.2	64.4	50.0	68.1
原 材 料 安	2.3	5.1	2.6	2.7	7.1	2.4	6.2	4.9	3.1	1.1	1.5	2.3	3.8	1.4
設備の合理化	4.7	0.0	2.6	1.8	2.7	2.4	4.1	2.5	4.1	4.5	3.1	2.3	5.8	4.3
製品価格の上昇	5.8	8.1	7.8	4.5	12.5	9.4	9.3	10.7	6.1	6.8	7.7	6.9	19.2	8.7
人件費の減少	3.5	2.0	6.9	5.5	1.8	2.4	6.2	5.7	6.1	3.4	3.1	6.9	1.9	10.1
経 費 節 減	9.3	15.2	14.7	16.4	16.1	17.3	12.4	14.8	11.2	21.6	16.9	16.1	19.2	7.2
金利の引き下げ	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6	1.6	0.0	0.0	0.0	1.1	1.5	1.1	0.0	0.0

悪化理由

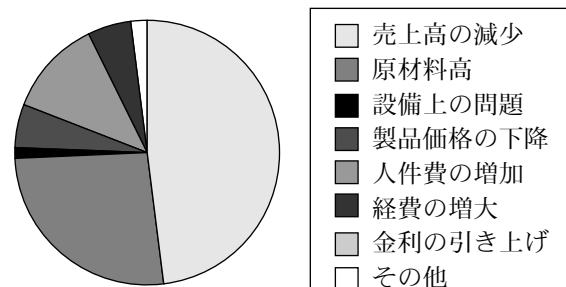
(%) 見込 予測

期別 種別	17 年				18 年				19 年				20年	
	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月
売上高の減少	60.0	49.6	48.4	41.8	57.5	38.9	35.4	40.7	55.7	47.2	17.6	48.0	51.4	48.1
原 材 料 高	21.1	19.8	19.8	20.4	19.4	24.1	28.1	20.3	18.4	25.0	21.0	26.3	22.3	25.6
設備上の問題	0.6	1.7	3.2	0.0	0.7	2.8	1.0	2.5	0.0	1.4	2.1	1.3	0.6	1.6
製品価格の下降	7.4	9.1	8.7	7.1	6.7	7.4	10.4	8.5	5.1	6.9	11.9	5.3	6.7	4.7
経 費 の 増 大	7.4	10.7	9.5	11.2	2.2	5.6	15.6	10.2	7.0	10.4	10.5	11.8	11.2	11.6
人件費の増加	1.7	5.8	5.6	8.2	9.7	12.0	4.2	8.5	6.3	2.8	4.2	5.3	5.0	7.0
金利の引き上げ	0.0	0.8	0.0	0.0	0.7	0.0	1.0	1.7	2.5	2.8	0.0	0.0	0.6	0.0
そ の 他	1.8	2.5	4.8	11.2	3.0	9.3	4.2	7.6	5.1	3.5	2.8	2.0	2.2	1.6

好転理由



悪化理由

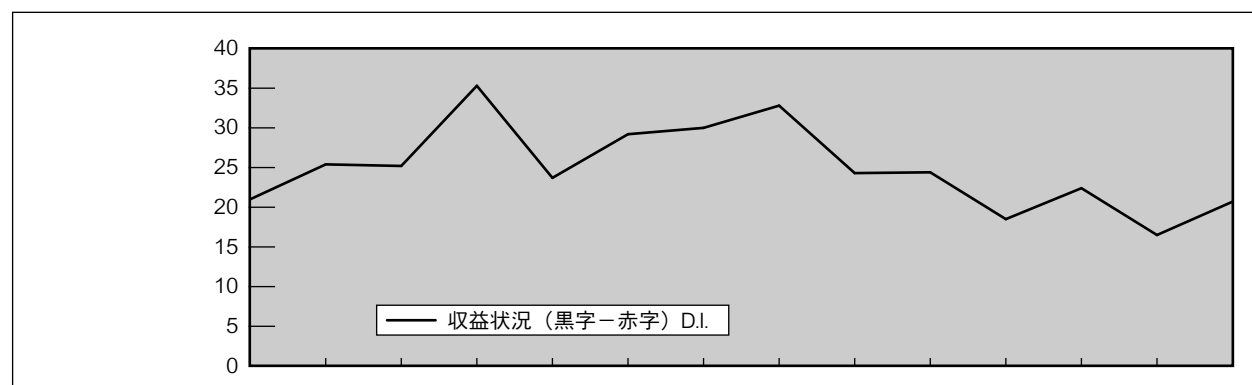


- (1) 10～12月期収益状況「好転－悪化」D.I.は、▲5.6と前期比5.7ポイント改善した。先行きについては、20年1～3月期D.I.は悪化となり▲19.5を予想している。しかし20年4～6期予測では再び改善予想となっている。
- (2) 「収益状況が好転した」理由、10～12月期実績は、①売上高の増加、②経費節減となり、順位は前回と変わっていない。先行きでは、「売上高の増加」が大幅な理由となっているが、「製品価格の上昇」が高い理由となり、ポイントが増加している。
- (3) 「収益状況が悪化した」理由、10～12月期実績は、①売上高の減少、②原材料高となった。売上高の減少とするポイントが大幅に増加し、原材料高とするポイントも増加している。先行きについても、売上高の減少を悪化の理由とする企業が、更に増加している。10～12月期は30.4ポイント増加し、1～3月期は更に3.4ポイント増加の予想である。売上高の増加する企業と、減少となる企業に大きく分かれてきている。

収益状況（黒字－償却後赤字）

(%) 見込 予測

種別 \ 期別	17 年				18 年				19 年				20年	
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月
黒 字	43.3	44.8	44.1	48.5	44.4	43.8	44.6	48.5	43.5	43.0	38.3	41.9	34.4	36.4
収支トントン	34.5	35.7	37.0	38.3	34.9	41.6	40.8	35.7	37.3	38.4	41.9	38.6	47.6	47.8
償却後赤字	22.2	19.5	18.9	13.2	20.7	14.6	14.6	15.8	19.3	18.6	19.8	19.5	18.0	15.8
D . I .	21.0	25.4	25.2	35.3	23.7	29.2	30.0	32.8	24.3	24.4	18.5	22.4	16.5	20.7



- (4) 収益状況「黒字－償却後赤字」D.I.は、18年4～6月期以降改善してきていたが、19年1～3月期より低下してきていた。しかし、19年10～12月期は22.4と前期比改善となった。先行きのD.I.は、1～3月期16.5と悪化の見込となっている。4～6月期では、20.7と再び改善見込となっている。赤字とする企業は減少しているが、収支トントンとする企業の増加により、D.I.は悪化している。

V. 製品在庫水準

製品在庫水準

(%) 見込 予測

期別 種別	17 年				18 年				19 年				20年	
	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月
不 足	2.7	4.7	3.6	3.3	3.2	3.6	3.9	3.6	2.4	2.8	4.4	1.6	1.9	1.0
適 正	82.8	79.7	81.9	83.0	86.0	83.8	85.5	86.4	84.9	84.9	82.6	85.5	86.7	90.5
過 剰	14.5	15.6	14.5	13.6	10.8	12.6	10.6	10.0	12.7	12.3	13.1	12.9	11.4	8.6
D . I .	-11.8	-10.9	-10.8	-10.3	-7.6	-9.0	-6.6	-6.4	-10.3	-9.5	-8.7	-11.3	-9.5	-7.6

製品在庫水準（うち製造業のみ）

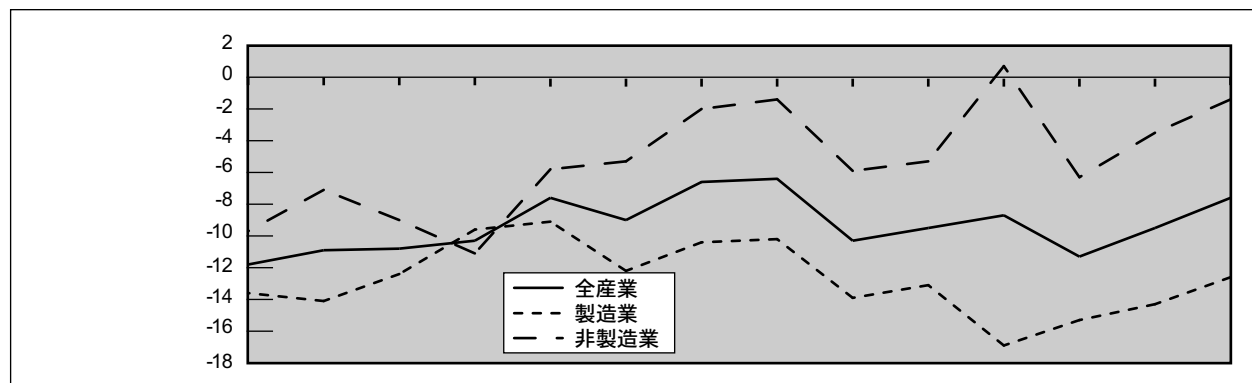
(%) 見込 予測

期別 種別	17 年				18 年				19 年				20年	
	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月
不 足	2.7	3.2	4.0	4.5	4.3	3.9	3.3	3.7	1.1	2.3	2.3	1.1	1.1	0.0
適 正	81.0	79.5	79.7	81.4	82.3	80.1	83.0	82.4	83.9	82.3	78.5	82.4	83.4	87.4
過 剰	16.3	17.3	16.4	14.1	13.4	16.0	13.7	13.9	15.0	15.4	19.2	16.5	15.4	12.6
D . I .	-13.6	-14.1	-12.4	-9.6	-9.1	-12.2	-10.4	-10.2	-13.9	-13.1	-16.9	-15.3	-14.3	-12.6

製品在庫水準（うち非製造業のみ）

(%) 見込 予測

期別 種別	17 年				18 年				19 年				20年	
	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月
不 足	2.6	6.5	3.2	2.0	1.9	3.3	4.7	3.5	4.0	3.3	6.7	2.1	2.8	2.1
適 正	85.1	80.0	84.5	85.0	90.4	88.2	88.6	91.6	86.1	88.0	87.2	89.4	90.8	94.3
過 剰	12.3	13.5	12.3	13.1	7.7	8.6	6.7	4.9	9.9	8.7	6.0	8.5	6.4	3.5
D . I .	-9.7	-7.1	-9.0	-11.1	-5.8	-5.3	-2.0	-1.4	-5.9	-5.3	0.7	-6.3	-3.5	-1.4



- (1) 全産業の製品在庫水準「不足－過剰」D.I.は、19年10～12月期は▲11.3となった。18年に入り製品在庫の過剰感は、17年より改善していたが、今期再び二桁台と過剰感が増加してきた。製造業は、前期比やや改善しているが、非製造業は7ポイント悪化となっている。
- (2) 19年10～12月期、業種別では、木材業が高く、出版印刷紙加工のD.I.も前期比改善しているが、依然高い状況である。窯業土石も過剰感が増加してきている。高岡銅器、繊維は今期改善となっていたが、1～3月見込では悪化予想となっている。

VI. 設備投資動向

設備投資の有無

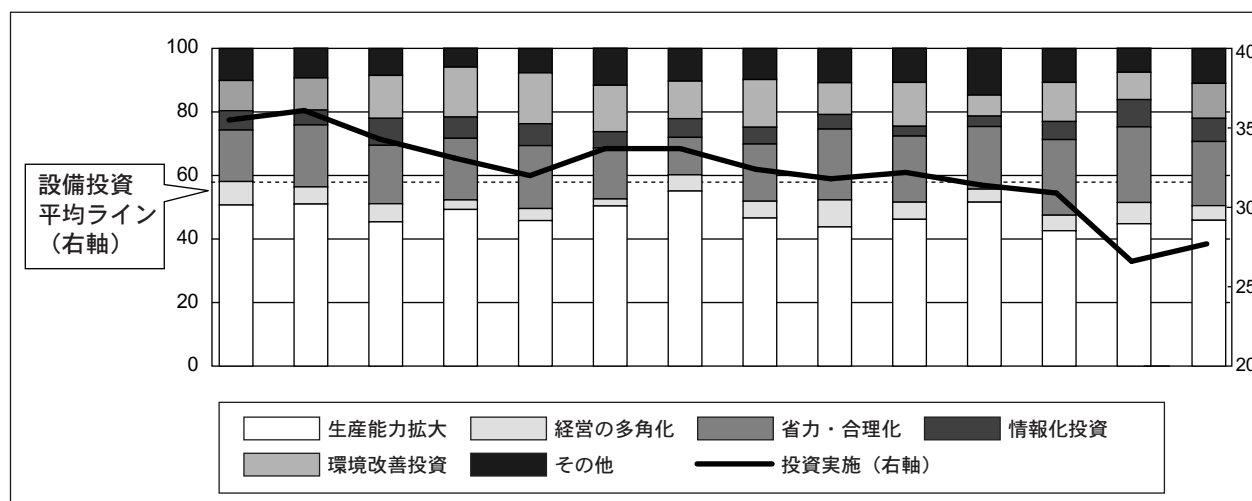
(%) 見込 予測

期別 種別	17 年				18 年				19 年				20年	
	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月
投資実施	35.5	36.1	34.3	33.1	32.0	33.7	33.7	32.4	31.8	32.2	31.4	30.9	26.6	27.7
投資せず	64.5	63.9	65.7	66.9	68.0	66.3	66.3	67.6	68.2	67.8	68.6	69.1	73.4	72.3

設備投資の目的（実施先について）

(%)

生産能力拡大	50.7	51.0	45.4	49.3	45.8	50.4	55.1	46.6	43.8	46.2	51.6	42.6	44.8	45.9
経営の多角化	7.4	5.4	5.7	3.0	3.8	2.2	5.1	5.3	8.5	5.4	4.1	4.9	6.7	4.6
省力・合理化	16.2	19.5	18.4	19.4	19.8	16.1	11.8	18.0	22.3	20.8	19.7	23.8	23.8	20.2
情報化投資	6.1	4.7	8.5	6.7	6.9	5.1	5.9	5.3	4.6	3.1	3.3	5.7	8.6	7.3
環境改善投資	9.5	10.1	13.5	15.7	16.0	14.6	11.8	15.0	10.0	13.8	6.6	12.3	8.6	11.0
その他	10.1	9.4	8.5	6.0	7.7	11.7	10.3	9.8	10.8	10.8	14.8	10.7	7.6	11.0



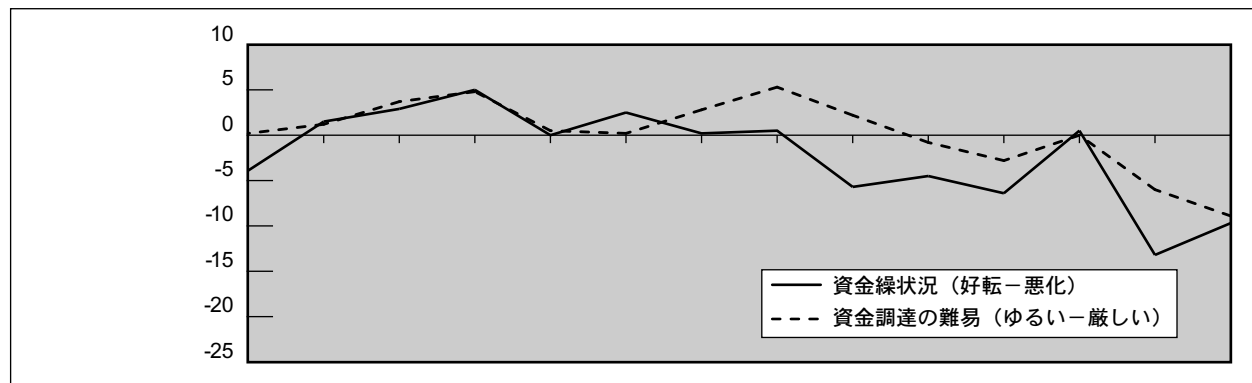
- (1) 19年10～12月に設備投資を実施した企業は全産業の30.9%であり、18期連続で30%を上回った。19年10～12月期実績を製造業と非製造業に分けてみると、製造業は38.0%、非製造業は24.5%となっている。19年10～12月期に設備投資を実施した企業の投資目的は、生産・販売能力拡大が42.6%次に省力・合理化が23.8%となっている。
- (2) 20年1～3月期に設備投資を予定している企業は全体の26.6%で、30%を割る結果となった。設備投資の目的は今期と同じ、生産能力の拡大がトップとなっている。19年10～12月期において設備投資実施企業の割合が50%を超えたのは、医薬品製造、電子部品製造であった。また、先行きでも、電子部品製造は50%以上が設備投資を見込んでいる。

VII. 資金繰り状況

資金繰り状況（好転－悪化）

(%) 見込 予測

期別 種別	17 年				18 年				19 年				20年	
	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月
好 転	8.7	9.2	10.3	11.7	11.0	10.8	9.2	11.0	8.1	6.8	5.9	10.4	4.1	6.1
変 わ ら ず	78.7	83.0	82.4	81.6	77.9	80.9	81.9	78.4	78.1	82.0	81.7	79.6	78.7	78.1
悪 化	12.6	7.8	7.3	6.7	11.0	8.3	8.9	10.5	13.8	11.3	12.4	9.9	17.3	15.8
D . I .	-3.9	1.5	2.9	5.0	0.0	2.5	0.2	0.5	-5.7	-4.5	-6.4	0.5	-13.2	-9.7



資金調達の難易（ゆるい－厳しい）

(%) 見込 予測

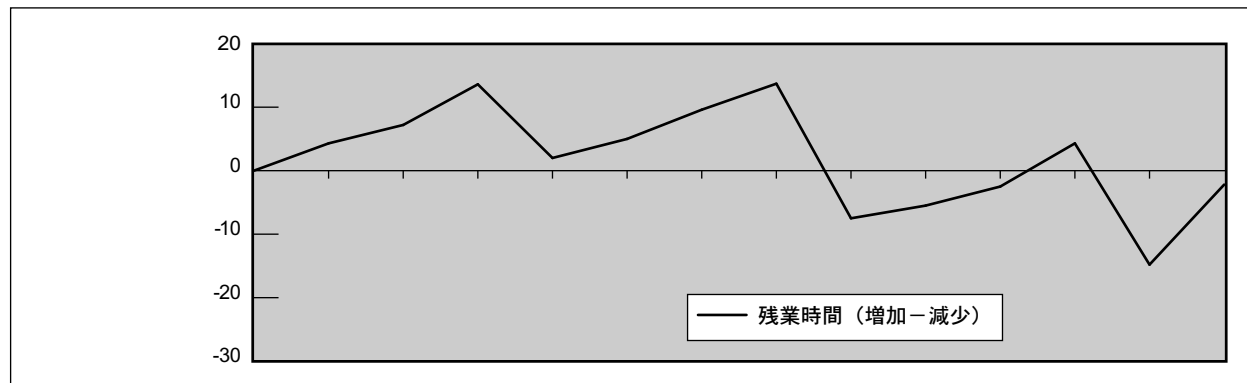
期別 種別	17 年				18 年				19 年				20年	
	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月
ゆ る い	12.2	13.1	14.4	14.1	12.2	11.5	13.2	13.8	13.6	11.6	10.6	10.4	9.9	8.9
厳しくない	75.4	75.1	74.9	76.6	75.1	77.3	76.3	77.8	75.0	76.1	76.0	79.3	74.3	73.4
厳 し い	12.4	11.8	10.7	9.3	12.7	11.2	10.4	8.5	11.4	12.3	13.4	10.4	15.8	17.8
D . I .	-0.2	1.2	3.7	4.8	-0.5	0.2	2.8	5.3	2.2	-0.8	-2.8	0.0	-6.0	-8.9

- 資金繰り状況D.I.「好転－悪化」実績は18年はプラスであったが、19年1～3月期からはマイナスとなり、悪化となっていた。10～12月期は0.5と前期比改善しプラスとなった。しかし、1～3月期では再び悪化予想となっている。
- また、資金調達の難易D.I.「ゆるい－厳しい」においても、19年10～12月期0.0と前期比2.8ポイント改善となった。先行きについては、悪化を予測している。業種別では、厳しいと感じているのは、宿泊業が前期と同じく最も高く、不動産業、繊維、土木業の順となっている。先行きについても、同じ業種の順であり、資金調達に苦慮している様子がうかがわれる。

VIII. 労務事情

残業時間

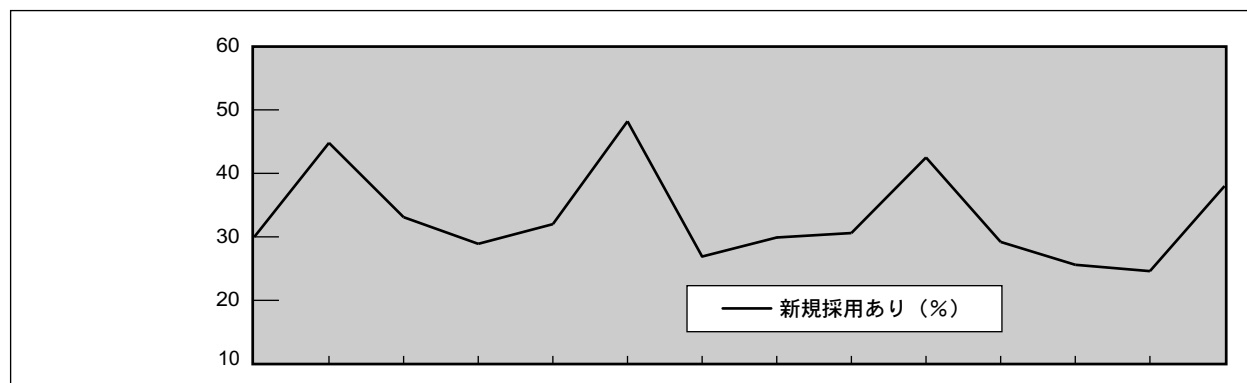
		(%)												見込	予測
種別	期別	17 年				18 年				19 年				20年	
		1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月
増加		20.2	19.6	19.1	24.6	19.5	19.4	17.2	22.5	15.6	14.0	15.1	18.7	9.5	10.8
横ばい		59.7	65.0	69.1	64.3	63.1	66.2	75.3	68.7	61.3	66.6	67.2	67.0	66.2	76.2
減少		20.2	15.3	11.8	11.0	17.4	14.4	7.5	8.8	23.1	19.5	17.7	14.4	24.3	13.0
D . I .		0.0	4.3	7.2	13.6	2.0	5.0	9.6	13.7	-7.5	-5.5	-2.5	4.3	-14.8	-2.2



- (1) 残業時間（増加－減少）D.I.19年1～3月期から、マイナスポイントとなり残業時間は減少していたが、今期は増加となった。例年、10～12月期は、増加している。先行きは減少する見込となっている。

新規採用実績(採用あり：％) ※常用・臨時合算

		(%)												見込	予測
種別	期別	17 年				18 年				19 年				20年	
		1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月
全産業		30.0	44.8	33.1	28.9	32.0	48.2	26.9	29.9	30.6	42.5	29.2	25.6	24.6	38.0
(うち製造業)		29.7	48.2	32.5	29.3	35.5	44.5	25.9	29.9	28.1	41.6	25.4	27.7	22.3	36.4
(うち非製造業)		30.1	41.7	33.6	28.5	28.7	51.5	27.8	30.0	32.7	43.3	32.5	23.7	26.6	39.4

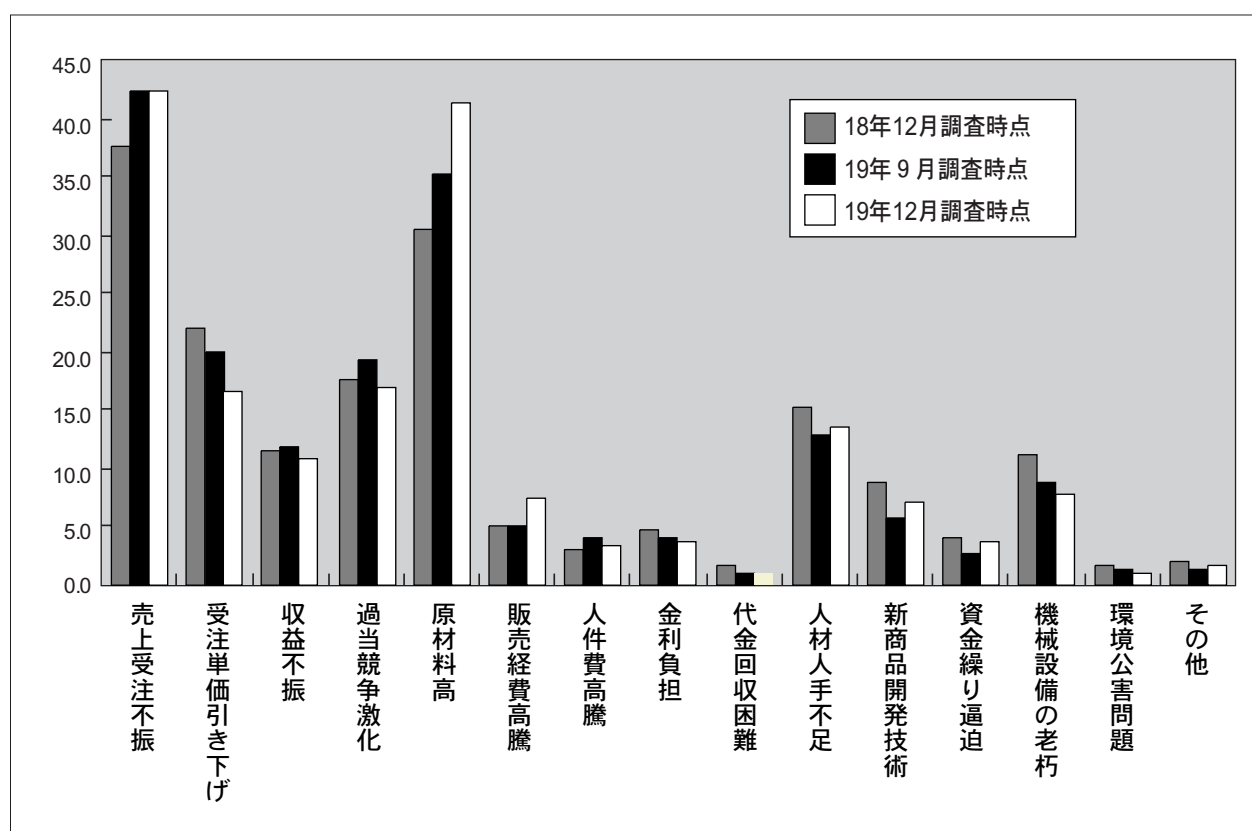


- (2) 新規採用集計は、常用雇用・臨時雇用合算で集計している。集計を見ると、全産業について10～12月期に25.62%の企業が採用を行っている。前年同期より4.3ポイント減少している。4～6月の採用は38%の企業が新規採用を予定している。

IX. 当面の経営上の問題点

□ (%:複数回答あり)

	18年12月 (前年)	19年9月 (前回)	19年12月 (今回)	19年12月		前回比増減
				(うち製造業)	(うち非製造業)	
売上受注不振	37.5	42.3	42.3	(39.6)	(44.7)	0.0
受注単価引き下げ	21.9	19.9	16.5	(16.6)	(16.3)	-3.4
収益不振	11.4	11.7	10.9	(8.6)	(13.0)	-0.8
過当競争激化	17.5	19.4	17.0	(9.6)	(23.6)	-2.4
原材料高	30.4	35.2	41.3	(53.5)	(30.3)	6.1
販売経費高騰	5.1	5.1	7.3	(4.8)	(9.6)	2.2
人件費高騰	3.2	4.1	3.3	(3.2)	(3.4)	-0.8
金利負担	4.9	4.1	3.8	(3.7)	(3.8)	-0.3
代金回収困難	1.7	1.0	1.0	(0.5)	(1.4)	0.0
人材人手不足	15.1	13.0	13.7	(14.4)	(13.0)	0.7
新商品開発技術	8.8	5.6	7.1	(12.3)	(2.4)	1.5
資金繰り逼迫	4.1	2.6	3.8	(2.1)	(5.3)	1.2
機械設備の老朽	11.2	8.7	7.8	(9.1)	(6.7)	-0.9
環境公害問題	1.7	1.3	1.0	(1.6)	(0.5)	-0.3
その他	1.9	1.5	1.8	(1.1)	(2.4)	0.3



- (1) 今回の調査の全産業での当面の経営上の問題点をみると、①売上受注不振42.3%（前期比+0.0ポイント）、②原材料高41.3%（前期比+6.1ポイント）、③過当競争 激化17.0%(前期比▲2.4ポイント)の順となっている。
- (2) これを製造業と非製造業に分けてみると製造業では原材料高53.5%、非製造業は売上受注 不振44.7%が最も高いポイントとなっている。今回調査では、売上受注不振は前回と同じポイントとなったが、原材料高は増加した結果となっている。また、販売経費増加を問題点とする企業も増加している。